

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

「体験の翼」交流団、西会津町へ派遣

令和元年度
西会津町

2月7日（金）～10日（月）3泊4日の日程で、「体験の翼」交流団員（小学生児童10名、引率5名、添乗員1名、計16名）が福島県西会津町で冬季交流を行いました。

昨年の7月には西会津町の交流団を大宜味村で受け入れ、あれから早半年。久しぶりの再会に初めは少し戸惑う様子も見られましたが、お土産を手渡し、一緒に写真を撮るとすぐに打ち解けていきました。1泊目は大宜味村・西会津町両団員共に施設での宿泊となり、2日目の朝から1泊2日各ホームステイ先での活動となりました。ホームステイ先では、雪遊びや郷土料理を食べたりなど、どの家庭でも温かく迎えていただき、雪国・西会津町ならではの体験をすることができました。

9日（日）の雪国まつりでは、沖縄の郷土芸能のエイサーを雪の上で堂々と披露しました。

夏季・冬季交流を通してすっかり仲が深まった両団員。こうやって会えたのも何かの縁です。これからもこの交流が続いていくといいですね！

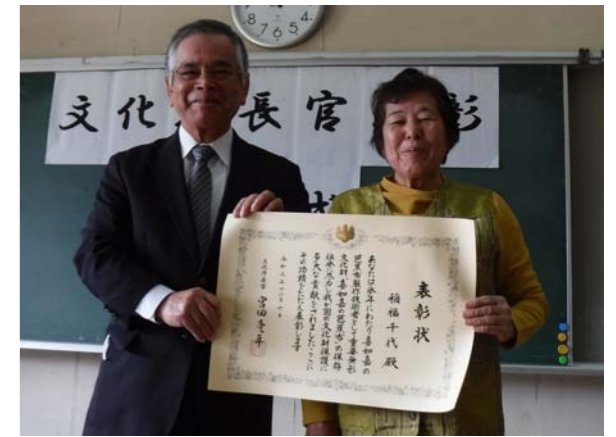




2月15日（土）から本部町（小学校、中学校）で開催された第136回沖縄県学童軟式野球大会北部支部北・辺土名ブロックに大宜味結Gutsが出場。3戦を勝ち抜き、見事初優勝を飾りました。週4日、1時間～1時間30分ほどの練習をしている結Guts。目標に向かってチームの練習のほかに個人個人でも練習を行い自信に繋げており、練習試合や数々の大会に出場することで日々の努力の結果を確かめています。今回の大会も選手、応援団がチーム一丸となって挑み、見事大宜味村で初の地区優勝となり、県大会出場を決めました。個人賞は殊勲賞に福地楽偉門くん、打撃賞に金城翼希くん、福地楽偉門くんが輝きました。県大会となる沖縄県学童軟式野球大会（マクドナルド杯）は3月20日～22日北谷町で行われます。県大会でのさらなる活躍を期待します！

永年の功績を讃えられ… 文化庁長官表彰式 稲福千代さん受賞

2月2日（日）、昨年文化庁長官表彰を受賞された稲福千代さんの表彰状を大宜味村教育委員会教育長から授与しました。永年にわたり、喜如嘉の芭蕉布の製作に携わり、伝承者の育成にも努め、重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」の保存・伝承に寄与、文化財保護に大きく貢献したことが認められたことによる受賞です。当日は公務のため、大宜味村に来村していた文化庁文化財第一課の生田調査官にもご臨席いただき、祝辞をいただきました。最後に改めて稲福千代さん、文化庁長官表彰の受賞おめでとうございます!!



雪国での貴重な体験と思い出を発表…「体験の翼」交流事業 報告会



2月21日（金）大宜味村農村環境改善センターにて、「体験の翼」交流事業の報告会が行われました。今年度は2月7日～10日の3泊4日の日程で西会津町へ訪問した団員。その中から代表で3名の児童の体験発表がありました。

西会津での思い出を振り返り、大宜味小学校6年生の山本紋伶里さんは「雪がきらきらしていて感動した。今回の体験を通して友情や住んでいるところとは違う景色や気候、団結力を身につけることができた」と話していました。最後は団員全員で「西会津町と大宜味村のきずなを大切に」「お世話になった人への感謝を忘れない」「体験の翼で学んだことをいかし頑張る」と決意しました。



図書室情報 No.7 2020年（令和2年）3月

大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F：村史編纂係内）
大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009

- 利用状況累計●
- 登録者数…50人
- 来室者数…292人
- 貸出冊数…428冊
- 現在の蔵書数…4151冊

2月の統計（2/25まで）

- 来室者数…38人
- 貸出冊数…47冊

3月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新本紹介 ※3月下旬入荷予定



くがにメダルを期待して… 瀬立モニカ選手大宜味村後援会設立総会・激励会開催

2月14日（金）、大宜味村農村環境改善センターにおいて「瀬立モニカ選手大宜味村後援会設立総会・激励会」が開催されました。モニカさんは2020年夏に開催される東京パラリンピックのパラカヌーの日本代表選手に内定しており、昨年からは塩屋湾で練習を続けています。練習の水分補給にはシークワサー酢を愛飲し、明るくいつも笑顔の彼女は周りの人たちともすぐに仲良くなるまさにシークワサーレディです。今回の後援会設立はそんなモニカ選手を村をあげて応援したいと発足されました。



激励会では安里重和村議会副議長が「パラリンピックでは堂々と戦い、No.1の笑顔で帰ってきてほしい。村民みんなが応援している」と激励。モニカ選手は「これまで、海のうねりが苦手だった。大宜味の海で練習できたことはとても力になった。大宜味のみなさんがチームモニカとして応援していただけてすごく嬉しい」と喜びました。東京パラリンピックのパラカヌーは9月3日に予選、5日に決勝が行われる予定です。黄金（くがに）色のメダルを獲ってきてくれるよう村民あげて応援しましょう！



見てください、このジャンプ！



1年生：それいけ！パワフルキッズ！！

本番に強い1年生！大成功♪



練習の成果です



歌もセリフも完璧です！



なりきり大賞決定！

お地蔵さん



2年生：かきこびぞう



空手クラブ：KAORA-TE

きました！



きれいに足が上がっています



パフォーマンスクラブ：劇

優しい悪魔！？

しっかり者の赤ずきん



振り付けも考えました！！



シークワサーについてたくさん学びました！！



3年生：わーけーシークワサー

みんなで踊ろう！



自然観察クラブ：屋古のチョウたち

素晴らしい画力！

人気のチョウが勢ぞろい♪

大宜味小きらめき発表会

2月2日（日）、大宜味小学校できらめき発表会、大宜味中学校で日曜授業参観、くがに一発表会が行われました。

「令和パワーさく裂 キセキをひとり1人に あきらめるな！

千バリオー大宜味魂！」をテーマに行われたきらめき発表会

では1年生から3年生はクラスで表現や劇、学習発表などを、4年生から6年生は各々が所属しているクラブでの活動を発表しました。初めてのきらめき発表会に臨んだ1年生、全員での大縄跳びも見事成功し、会場を沸かせました。自然観察クラブは屋古のチョウベスト10を発表。自分たちで描いた大きなチョウの絵を持って、優雅に歩きチョウを紹介。彩り豊かなチョウの絵にファッションショーさながらに盛り上がりました。

午後からは中学生によるくがに一発表会。三線、かぎやで風の舞踊で幕開けしました。1年生から3年生まではシークワサーについてや職場体験、進学に向けての調べ学習など総合の授業で取り組んだことを発表。他にもフラダンスや器械体操の発表もあり明るく賑やかにくがに一発表会となりました。

大宜味中くがに一発表会



英語クラブ：世界の国からこんにちは

メジャーリーグも登場！？



おススメの国は？



1年生：器械体操



素晴らしい跳躍！



1年生：商品開発について

商品を作る大変さを知りました



2年生：職場体験について

仕事は大変だ…



3年生：高校見学、修学旅行について

修学旅行で友だちとの絆を深めました！！



4・5・6年生：合唱

素敵なハーモニー♪会場に響き渡りました



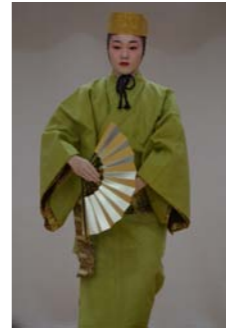
三線：安波節、ヒヤミカ千節

くがに一発表会



響く三線の音、のびる歌声

淑やかに舞う



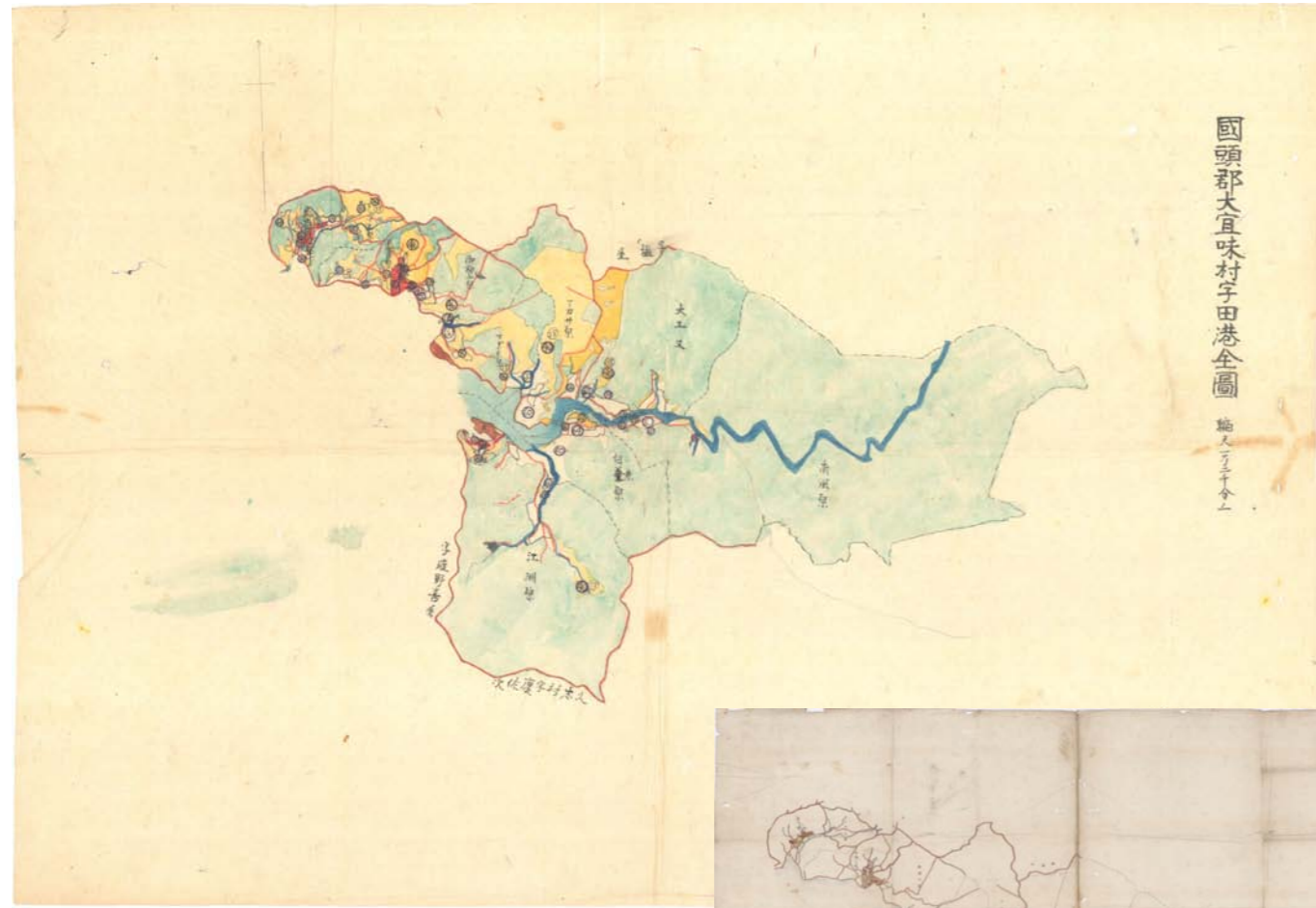
かぎやで風

表現豊かに華やかに舞う



フラダンス

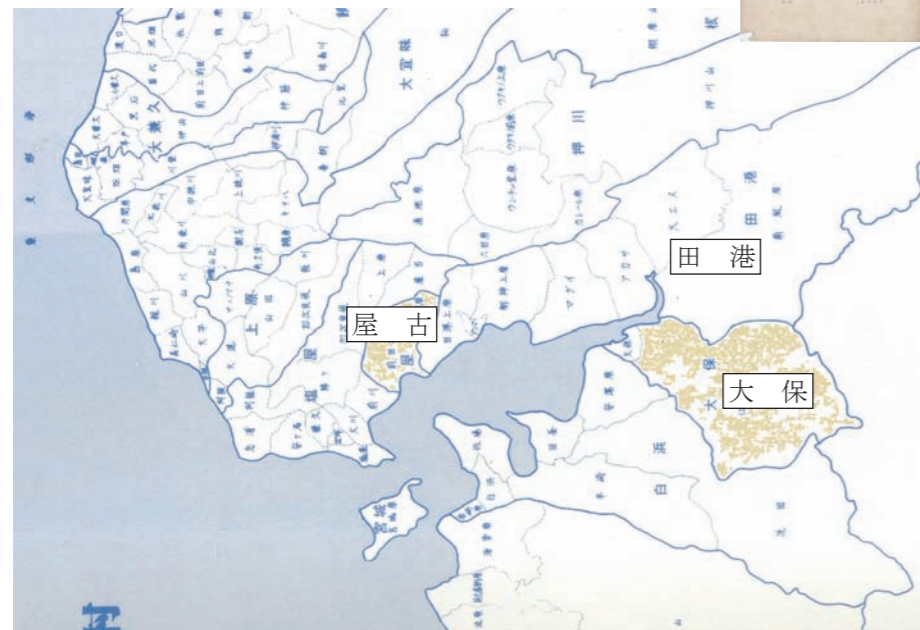
大宜味村の間切・村図の紹介 1 1



上 國頭郡大宜味村字田港全圖
約53×75cm 1万2千分の1
原名：屋古前田原、タンナ又原、田港上原、御神上原、マガイ原、大保原、アカサ原、江洲原、白兼原、大工又、南風原

右 國頭郡大宜味間切田港村全圖
約76×110cm 6千分の1
原名：同上 道、水路、集落部、村境のみ彩色、凡例有

下 現在の区分



どから移住してきた人々が開拓した屋取集落である。行政上は田港に属していたが、大正13（1924）年にムラ分かかれし昭和4（1929）年、公的に行政区となった。そのため、塩屋と根路銘から分れた押川、大保から分れた江洲と共に、田港ノロが司祭する塩屋のウングミにも参加している。

屋古、田港、大保の歴史的繋がり
1673年に田港間切が創設され田港村に番所が置かれた。その後、1692年に田港間切は大宜味間切へ名称変更、番所は大宜味村(むら)に移転した。屋古村は、「田港が古いか、屋古が古いか」といわれるぐらい、その歴史は田港に近接している。17世紀末に前田村と合併して屋古前田村となり、屋古前田村は明治36（1903）年に田港村の一部となったが、昭和5（1930）年に再び屋古（前田村は屋古と合併）として独立した。

大保は18世紀後半に那覇、首里、泊などから移住してきた人々が開拓した屋取集落である。行政上は田港に属していたが、大正13（1924）年にムラ分かかれし昭和4（1929）年、公的に行政区となった。そのため、塩屋と根路銘から分れた押川、大保から分れた江洲と共に、田港ノロが司祭する塩屋のウングミにも参加している。



村史編さんだより

第107号 2020年3月1日 大宜味村村史編纂係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

『言語編』 専門部会開催



2月12日（水）南風原町北丘ハイツ集会所にて、第2回『言語編』専門部会を開催しました。

久しぶりの専門部会開催ということもあり、会議では、これまでに行った作業の経緯・報告からはじまり、原稿の内容やレイアウトについて精査と微調整を行った後、印刷までのスケジュールの確認を行いました。原稿はまだ細かい修正作業が必要ですが、年度内発刊に向けて全力で頑張っていきたいと思います！

『人と自然編』 聞き取り調査報告 (11)

人と自然編専門部会では、『人と自然編』の発刊に向けて、動植物の方言名や利用についての聞き取り調査を2018年7月から字ごとに各3回行ってきました。

2月18日（火）、20日（木）には、江洲と津波で聞き取りを行いました。両日とも寒い日でしたが、江洲3名、津波6名と多くの方に参加していただき、実りのある調査を行うことができました。ありがとうございました。

***~~~~調査項目より一部を紹介*~~~~**

江洲 **カタバミ**（方言：メーハジチャー）…利用：破傷風にかかったときに煎じて飲んだ。 **キャッサバ**（タビオカ）…江洲に入植してすぐに栽培した。天ぷらにした。 **トペラ**（トゥペールギー）…小さい頃大保で、イッパーに使う道具を作って遊んだ。 **シマミサオノキ**（ダシチャー）…ダシチャーグーサン（杖）を作った。上等だった。

津波 **アダン**（アナナンギー）…葉をパンバラー（風車）やカゴを作った。アラナシ（アダンの木根）で縄をない牛や馬をつなぐ綱に使った。 **グッキツ**（ギンギチ）…たくさん花が咲くと台風がくると言われた。 **タマシダ**（ガガイパー）…葉がガガイ（のこぎり）と似ているから。 **ホソバワダン**（インギヤナ）…親が喜ぶの子どもがとりに行った。崖によく生えていた。和え物にして食べた。胃の薬。



▲江洲での調査風景。寒い中ご足労ありがとうございました



▲津波での調査風景。皆さんパワフルで楽しかったです！



▲(上) ソテツで作られた魚の飾り。江洲の上地さんより寄贈



▶(右) 仲宗根さん（津波）お手製のインギヤナの和え物。美味でした♪



「しまふとうば」ぬくとう 50



うみがーみー

去る2月22日に「やんばるの森 ビジターセンター」がオープンした。その場所
は4年前までは大宜味中学校があった。中学校が出来る前は田んぼが広がっていて、
トゥッケー（渡海）と呼ばれていた。

私の家系はムトゥヤーから二男、三男の流れであったため財産（土地）がなく、耕作していた
田畑は小作地であった。何箇所かあった小作地の一つが、そのトゥッケーにもあり、米を作っ
ていた。深い田んぼであったが稲作後のタードーシウム（田の水を引き畦を作って植えられた芋）
は甘くておいしかったことが鮮明に思い出される。

この田んぼは親戚から借りていたのだが、塩屋の浜から渡し番で宮城島に渡り、今にも壊れそ
うな木で作られた当時の宮城橋を渡って田んぼに行き、耕作困難な深田でかなりの難儀をして米
を作っていた。そして収穫した米の約半分ほどは地主に納めることになっていたのである。地主
である親戚の家に米を納めに行くときに、幼子（6〜7歳？）であった私も父親についていった。
その時の様子もまた鮮明に、昨日のここのように覚えている。幼心に小作人の悲哀を感じ、親戚
の地主を恨めしく思ったものである。

「やんばるの森 ビジターセンター」落成式の日、幼い頃に鋤を持って耕していた田んぼの
あった辺りを眺めながら、少しばかりもの思いに耽っていた。約60年前のことであるが周りの
風景が昨日のように思い出された。時は矢のように過ぎる。
「トゥッケー（渡海）」が出たので、おなじみの琉歌を一首。琉球舞踊「チジュヤー（浜千鳥）」の3番。

渡海や 隔じゃみていん 照る月やふいとうち あまん眺みゆら 今日ぬ空や
とうけやふいじゃみていん ているちちやふいとうち あまんながみゆら きゆぬすらや
○海を隔てていても 照る月はひとつ あの方も眺めているだろう 今宵の空を

タイマイ（子ガメ）：ウミガメ科

今月の生きもの



訳あって、タオルの上からこんにちは。改めましてタイマイです。
サンゴの間にある海綿やクラゲを食べているため口ばしが尖っているのが私
たちの特徴。大きくなると甲羅はギザギザしてくるの。きれいな甲羅だから昔はべつ
甲を取るために捕まえられていたこともありました…
そういえば、なぜ、タオルの上にいるかって？よくぞ、聞いてくれました。実
は浜に打ち上げられてしまい、保護されたのです。私たち寒さで弱ってしまうと
泳ぐ力がなくなって浜に打ち上げられてしまうことがあります。私が拾われた時
も、2月でした。1回の産卵で産み落とされる卵は160個ほどですが、大人になっ
て生まれた浜に帰ってくるのはごくわずか。海の世界は厳しい。
3年おきに大宜味にやってくる私たち。今年はもしかしたら出会えるかも…

3月の行事予定

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| 1日（日） 県立高校卒業式 | 19日（木） 小学校卒業式（午前） |
| 2日（月） 区長会 | 中学校修了式（午後） |
| 4日（水） 喜保お別れ遠足 県立高校一般入試 | 中学校離任式・PTSA 送別会 |
| 5日（木） 県立高校一般入試 | 20日（金） 春分の日 少年を守る日 |
| 6日（金） 塩保お別れ遠足 | 21日（土） おきなわ地域教育の日 学び舎あじまあ |
| 7日（土） 中学校卒表式 | 23日（月） 小学校修了式・離任式 |
| 9日（月） 中学校振替休日（卒業式） | 24日（火） 塩・喜保ほのぼのパーティー |
| 11日（水） 県立高校合格発表 | 中学校リーダー研修 ～ 25日 |
| 15日（日） 家庭の日 | 26日（木） 定例教育委員会会議 |
| 18日（水） 幼稚園修了式 | 31日（火） 学校職員退職者辞令交付式 |



3月8日 ミツバチの日

もう3月。卒業、修了、異動と別れの季節となりました。そして年度末。いろいろなことを片づけなければいけない年度末。次の準備に取り掛からなければいけない年度末。やることいっぱい年度末。忙しさからお別れしたいなあ。